



できないことがあるとダメなの？



A. できないことがあってもいいんだ。

できないことは無いに越したことはないよ。  
でも、できないよりはできたほうがいい、というくらいのものだね。  
もっと大切なことは「助けてください、手伝って」と発信できる力なんだ。

何でもかんでも自分一人のできる、ということはすごいことかもしれない。  
周りにいる人と同じことがすんなりと出来る、ということも大切なことかもしれないよね。  
でも、たぶんそれよりも、自分の困りごとを「困っているから手伝って」と伝えられることのほうが  
はるかに大切な力だと思うんだ。

そのためには、[サポートしてくれる人](#)を信頼できなければいけないよ。  
サポートする人は、信頼に足る人間でなくちゃいけない。  
人と人の、[信頼関係](#)、がものをいうんだね。

でも、何もかも「やってください」というのとは違うよ。  
自分がこれをやってみたいけれど、少し難しいところがあるからそこを手伝ってほしい、ということ。  
まず、自分がやってみたい、という気持ちが先に来るんだ。

[放課後等デイサービス](#)は、この「自分がこれをやってみたい」という気持ちを、子ども自身が持てるようにと考えなくちゃいけないよ。  
箸づかいが巧くないから、お箸を上手に使えるようにする、ということが何でもできる、にはつながらない。  
この場合は、お箸を使って楽しくご飯を食べたい、という気持ちを持ってもらうことが大切なんだ。

「お箸を使って楽しくご飯を食べたい」という本人のニーズがあって初めて「では箸を巧く使う練習をしましょう」ということになる。  
そこで、この事業所、ではどういうふうに取り組むのか、という工夫が出てきて、それにそって練習する。  
結果として、ひとつできることが増えた、ということになるんだね。

練習をして、ほとんどは巧く箸を使うことができるようになったでしょう。  
でも、最後にお茶碗やお弁当箱にご飯粒が残ってしまって、それを寄せることができない。  
そんなときに、自分でできなきゃ、と言って最後の一粒まで自分で箸を使って食べることが、本当に必要なのだろうか？

これはいまの自分には難しい、だから「手伝って」というSOSを出せばいい。  
箸を使ってご飯を食べるのが面倒だから食事介助して、というのとは根本的に違うよね。  
普段の生活の場面でも、なかなかヘルプを出せないことがあるんじゃないだろうか。

この「助けてください、手伝って」が言えることには、もう一つ重要な意味があるよ。  
それは「[イヤをいう能力](#)」にリンクするからなんだ。  
「イヤです」と言うためには、お互いの間に信頼関係が出来ていないといけないからね。

恥ずかしくてなかなか言い出せなかったり、言うこと自体がイヤだったり、どう伝えていいのか解らなかったり、と理由はいろいろあると思うんだ。  
この方法なら伝えやすい、というものを探していく必要があるね。  
ひとりでは見つけにくいかもしれないから、信頼できる大人と一緒に考えて実践していけるといいね。

## 《MENU》

[《ライフステージに応じた関りって②？》](#)

[《イヤって言ってもいいの？》](#)

2023-10-23 掲載